

令和4年度 芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「高校生の美術2」（日本文教出版）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」と「鑑賞」の分野について学習します。
- ・基本はものをよく見ることです。一面的でなく、様々な方向や角度から見ることです。離れて全体を見たり、部分を拡大してみたり、構造を見たりすることです。人は見ているようでよく見ていないことが多く、絵を描いたりすると概念的な表現につながります。制作途中にも、自分の作品を少し離れてじっくりと見たりすることが大切です。

2 学習の到達目標

美術の幅広い活動を通じて、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	完成や想像力を働かせて、感じ取ったこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	観察 ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品	観察 制作途中の作品 提出作品	観察 ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	オリエンテーション	「鑑賞」 ・オリエンテーション 教科書を鑑賞し多様な表現形式について学び「美術Ⅱ」の学習イメージを持つ。	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習意欲を高めている。 d:美術作品などの良さや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	学習活動の様子
	デザイン構成美の三要素	「デザイン」「鑑賞」 ・構成美の理解 シンメトリー、レビテーション等構成美の要素を構成する。 ・図案の制作 画用紙にポスターカラーで着色する。 ・相互鑑賞 ・レポート作成	○	○	○		a:「構成美」についてデザインの美しさや表現方法に関心を持つ。 b:感性や想像力を働かせて創意工夫した構成をする。 c:表現意図を理解し、効果的に表現する。 d:多様な構成の美しさを理解し見方を深める。	学習活動の様子 制作途中の作品 提出作品 レポート
	デザインレタリング・ポスターの制作	「デザイン」「鑑賞」 ・美しい文字やレタリングについて理解し表現する。 ・アイデアスケッチ テーマに沿ったオリジナルデザインを考える。 ・図案の制作 画用紙にポスターカラーで着色する。 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a:レタリングを理解しようとする意欲と美しい表現に関心を持つ。ポスターを目標とした文字のデザインに意欲を持つ。 b:レタリングを理解し美しい表現のための発想や構想を練る。ポスター表現の構成をする。 c:表現技法を身につける。ポスターカラーなどの用具の生かし方などを工夫して表現する。 d:文字の美しさや機能について理解し、目的に合った作品の美しさや働きについて理解を深める。	学習活動の様子 制作途中の作品 提出作品 鑑賞活動の様子や発言内容

二学期	<p>「絵画」「鑑賞」</p> <p>大物画・模写の制作」</p>	<p>「絵画」「鑑賞」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドの鑑賞 ・デッサン 木炭でおよそのあたりをつけ構図の検討をおこなう。 ・制作 構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・主題を追求し、表現を深める。 ・相互鑑賞 	○	○	○	○	<p>a:模写について理解し、関心を持って取り組む。表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b:表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。</p> <p>c:木炭、油絵具やペインティングナイフなど用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。</p> <p>d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解している。</p>	<p>学習活動の様子</p> <p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>鑑賞活動の様子</p> <p>提出作品</p>
	<p>「彫刻」「鑑賞」</p> <p>野菜の彫刻」</p>	<p>「彫刻」「鑑賞」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドの鑑賞 立体作品を鑑賞し、制作に対する関心を持つ ・アイデアスケッチをしながら表現の構想をまとめる。 ・制作 構想を基に、表現の目的や意図に応じて粘土や用具の特性、効果を生かしたり、より効果的な表現方法を工夫したりしながら制作する。細部を整え、彩色する。 ・相互鑑賞 	○	○	○	○	<p>a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b:表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。</p> <p>c:粘土や彫塑用ナイフなど用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。</p> <p>d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。</p>	<p>学習活動の様子</p> <p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>提出作品</p> <p>鑑賞活動の様子</p>

